

『橋梁点検及び補修 現地学習会』を開催しました ～石川県道路メンテナンス会議～

石川県道路メンテナンス会議(県内道路管理者が連携して道路施設の老朽化対策の強化を図ることを目的にH26.6.23設立)では、将来を担う国立石川工業専門学校の学生を対象に、「橋梁点検及び補修 現地学習会」を開催しました。

開催状況

1. 日時: 平成30年 5月21日(月) 9:30～11:30
2. 場所: ①橋梁点検 主要地方道 高松津幡線 うらたばし 浦田橋(かほく市高松)
②橋梁補修 一般県道 中尾津幡線 つばたこせんきょう 津幡跨線橋(河北郡津幡町字浅田)
3. 参加者: 国立石川工業高等専門学校 環境都市工学科5年生 生徒39名ほか関係者
4. 内容: ①現地橋梁点検(実地研修)
 - ・学生が実際に現地で損傷部分をスケッチ、写真撮影し、点検調書を作成②橋梁補修工法の習得(現地説明)
 - ・補修を実施した橋梁にて、対策内容と施工方法を説明



現地橋梁点検(実地研修)の状況



橋梁補修工法の習得(現地説明)

参加者の声

- 初めて橋梁点検をしてみて、“将来、自分もこのような仕事をするんだ”というイメージをつかむことができたので、とても貴重な体験だった。
- 建設後の維持管理は、あまりイメージが無かったので、今回はいい経験になりました。
- 公共事業と聞いて、もっと大きな工事を想像したが、思っていたよりも小さなものであったことに驚いたこととともに、小さなこと、身近なことに関わっていると認識できた。